



電子計測器  
開発・製造

# いろいろな計測器を作って はかる技術で社会を支える会社です。

## アンリツ株式会社

本社 / 厚木市恩名5-1-1 <https://www.anritsu.com/ja-jp>  
創業 / 1895年(明治28年) 従業員数(単独) / 1,750名(2023年3月31日現在)



もっと、くわしく  
みてみよう!

### 私たちの仕事

私たちは、新しい技術をいち早く取り入れて、社会の発展に貢献している会社です。たとえば情報を早く確実に伝えるために必要な機械や仕組み、食べ物や薬を検査する機械、それから道路や川の管理をする装置も作っています。今から100年以上前の1895年に生まれた会社で、それからずっと、みなさんの生活がもっと便利になるように頑張っています。



■ 本社

### ? はかる技術ってなに?

私たちは計測というはかる技術で、社会の安全・安心を支えています。たとえば、スマートフォンは“外国でもきちんとつながるか”、“電池が早くなくならないか”などを私たちが作った機械で検査したあとにお店で販売されます。



ここに  
注目!!

### スマートフォンの開発に役立っているよ

開発中のスマホを、実際のネットワークにつなぐことはできません。そこで、ネットワークの代わりになり、そのうえいろいろな試験もできる機械を私たちが作って、スマホを開発しているメーカーを助けているのです。

#### 実際のネットワーク環境



#### 試験環境



ここに  
注目!!



食品の安全性もはかっているよ!



異常なし!!

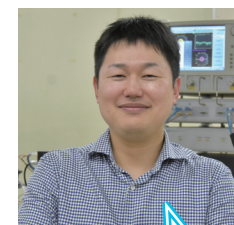
お菓子やお弁当などを作っている食品工場では、私たちが作ったX線検査機が使われています。X線検査機とは、たとえば歯医者さんが隠れた虫歯を見るために使うレントゲン写真と同じような仕組みで、食品の中を検査する機械です。それを使って、食品の中に金属や石などの異物が入っていないか、安全確認をしています。ベルトコンベアで流れてくる食品が検査機を通ると、食品の中身が映し出されて、余計なものが入っていないか判定できます。

### はかる技術は、こんなところにも使われているんだって!

私たちが開発したはかる技術は、災害から町を守る仕組みにも使われています。「SightVisor」という機械は、川の上流から河口までのいろいろな場所に置かれたカメラの画面をまとめて見せてくれるので、洪水が起こりそうになったら、監視している人にいち早く危険を知らせることができます。



ダムや川の上流にあるカメラを使って、川の周りの状況を確認することができます。



6Gプロジェクト担当  
藤崎 さん

私は、次世代のスマホ(6G)のための測定器の開発をめざし、光を使って電波を正確に測る実験に取り組んでいます。もともと、小学生のころから理科が好きで、特に電気や光に興味を持っていました。会社に入ってから自分の好きなことをいかして、みなさんの将来の生活をもっと便利にできれば、とてもうれしいですね。

### はたらく人の声



食品検査機開発担当  
瀬野 さん

コンビニに並んでいるお菓子やお弁当を製造する工場で品質検査をする機械の開発を担当しています。安全・安心な食生活を守るために、食品工場の方から話を聞き、より高品質な検査ができるように機械をバージョンアップさせています。実際に機械が納品されたときにお褒めの言葉を頂くと、頑張ってたよって思います。